

＝ 新・あらた ＝

新天皇が即位され、「令和」という新たな時代に入った。新元号「令和」に込められた思いは、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。」といわれている。新しいものには何かしらわくわく感と希望や夢が寄り添うものである。平和で明るい御代（みよ）の姿が訪れんことを希い奉る（こいねがいたてまつる）。

新元号のもと、日本国の新たなスタートにちなんで「新」に関わる文字を検索してみた。維新（イシン）；平成最後は明治維新から 150 年だった。一新（イッシン）；財布の中の樋口一葉（5000 円札）とはいつも短い付き合いだったが、日本銀行券・紙幣が一新されるとのこと。革新（カクシン）；第 4 次産業革命、イノベーション・革新的技術開発はさらに前へ。更新（コウシン）；マラソン大会出場のたびにめざすもタイムの記録更新なかなかならず。斬新（ザンシン）；基幹労連 27 万人の心をつなぐ斬新なアイデアやいかに、まずは Face to face 愚直にまじめにやるのが肝要か。新鋭（シンエイ）；基幹労連結成後初の新卒女性職員を採用、新進気鋭のエースとなることを期待。などなど…

その「新」という文字、実は 2009 年「今年の漢字」に選ばれていた。私たち労働組合が夢にまで見た政権交代の年、そして米国の新大統領としてオバマ氏が就任したことなどから、新の一文字が選ばれたのである。しかし、振り返れば丁度 10 年一昔の話になる。今や当時政権交代を果たした民主党について、フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』では、日本に存在していた政党名と記されており、その後の状況は推して知るべし。

しかし、いつまでも一強他弱のままでは日本の政治はおかしくなるばかり。私たちは、あらためて国際社会における日本の位置づけや国民を軸に据えた政権運営など、将来のあるべき姿を示しつつ現実的な政策の実現に向け、二大政党的政治体制のもとで切磋琢磨する政治の姿をつくりあげていかなければならない。

4 月に行われた第 19 回統一地方自治体選挙は、各組合の努力で組織内議員の当選を果たした。各組織があらゆる戦略を練りながら実践してきた結果であることは間違いないが、組合長・委員長・支部長をはじめとするトップ、機関役員の皆さんが安心・安全・安定して暮らせるまちづくりなど、政策実現の重要性を訴え仲間の思いに届かせることができたからに他ならない。熱い思いをもって、行動に移し、組合員とその家族の皆さんの共感を得てきた努力を称えたい。

次はいよいよ第 25 回参議院議員選挙である。統一地方選の取り組みを糧に基幹労連全体で動きを加速していかなければならない。われわれのめざす政策実現のため、まずは確実に根を伸ばし、7 月には新たな時代づくりに向けた新芽を芽吹かせねばならない。それは働く仲間と生活者の笑顔をつくる取り組みであり、政治のプロセスを通じた幸せづくりである。

5 月のさわやかな風、明るい陽射しのもと、芽吹く山々の木々を自らの生気に変え、ともに頑張ろう。

ご安全に

2019年 5 月 1 日
日本基幹産業労働組合連合会
中央執行委員長 神田 健一